

乃木坂スクール

経済誌が連載「精神医療を問う」で明るみに出した現実

— 一般紙が書かなかったこと、書けなかったこと —

東洋経済新報社 『週刊東洋経済』編集長
風間直樹
(naoki-kazama@toyokeizai.co.jp)

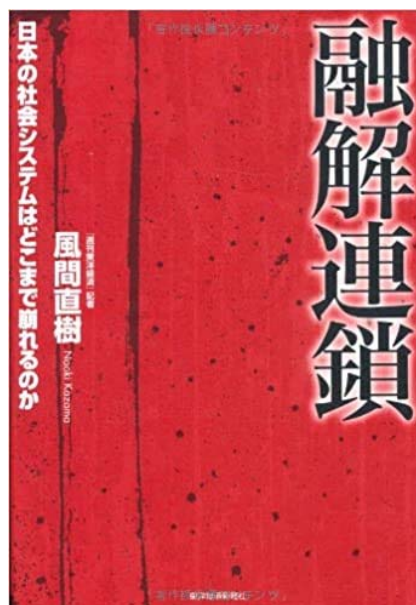
自己紹介

- ・1977年長野県生まれ。都立小石川高校、早稲田大学政治経済学部卒業、2001年同大大学院法学研究科修了後、東洋経済新報社に入社。
- ・編集局記者として、電機、金融業界担当などを経て、雇用労働、社会保障問題等を取材。
- ・2014年8月から2017年1月まで、朝日新聞記者（特別報道部、経済部）。
- ・東洋経済に復帰後は、「週刊東洋経済」副編集長、調査報道部長を経て、2022年4月より現職。

「週刊東洋経済」で担当した主な特集



主な著作など



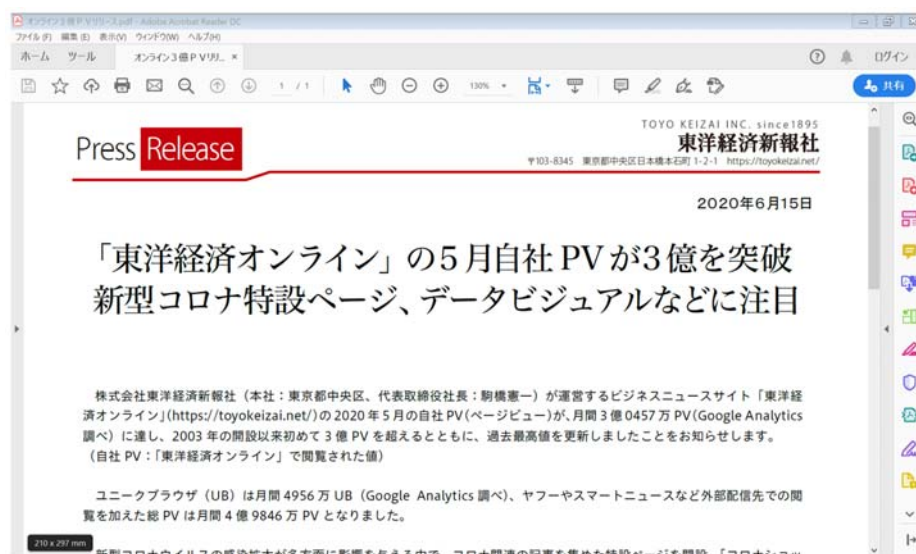
東洋経済が「調査報道部」を設置した狙い

・従来から『週刊東洋経済』の特集では、編集部の独自の問題意識による、社会性のあるテーマでの調査報道は積極的に行ってきた。（例：「薬局の正体」「宗教 カネと権力」）

・この間の「東洋経済オンライン」の急成長を受け、同媒体の拡散力を生かした調査報道を行うためには、別途、部を立ち上げるべきと編集局幹部が判断。

・2019年の組織改編に伴い、「解説部」等とともに新設。本誌とオンラインを両輪とし、調査報道を展開。

月間3億PVを突破した東洋経済オンライン



私が考える「調査報道」とは

・「当事者たちが声を上げにくい」

ゆえに生じる

・①「見えにくい構造問題」

・②「不都合な現実」

を

地道な現場取材に基づいて、可視化していくこと

(NOT 「目の覚めるようなスクープ」、「文春砲」・・・)

狙い①: 見えにくい構造問題を可視化する



(例)核燃料サイクル問題

- ・安全性への尽きない不安に加え、時代の変化で必要性も失われたかに見えるが、政府や原子力事業者が旗を降ろさぬ理由とは。
- ・施設が集中立地する青森県内の自治体への関与をさらに深める。
- ・「核燃マネー」＝電源三法交付金や核燃料税、固定資産税、寄付金…→青森県内への電源三法交付金は3300億円超。
- ・核燃料サイクル施設が集中する六ヶ所村＝人口1万人の同村への交付金総額は600億円。
- ・日本原燃の情報センター＝地元紙のビル内に新設移転。
- ・地元貢献の背景に青森県に核のゴミをすべて押しつけるという本音。

(例)「子どもの命を守る」特集

総力特集 続発する虐待死、その真因を探る
週刊東洋経済 9/21

- 目黒区結愛ちゃん 死を招いた行政の抜け穴
- 独自調査 児童相談所の労働実態
- 保育園で急増する重大事故
- いじめ自殺が減らない理由
- 不慮の事故から子どもを守るには？

子どもの命を守る



広がる向精神薬の服用
子どもたちを薬漬け
児童養護施設の現実

児童養護施設では向精神薬の服用が一般化。本当に必要な治療なのか。

小学生時から複数の向精神薬を服用
一女性が発覚後、施設で飲んでいた薬

- ・コンサータ
- ・ストラテラ

服用を続けた結果、幻覚、幻聴、被害妄想に苦しむ

- ・エビリファイ

イライラが収まらず不眠に

- ・抑肝散エキス顆粒（薬用）54
- ・漢方濃縮煎剤抑肝散 54

「薬を飲み続けた結果にすくもられて、いつか定まった」女性。昨年度施設を退所し、父親と性行為を再開した母親の元アルバイトも始めています。

しかし他方で子どもたちを抑制するための手帳に用いられる...

狙い②「不都合な現実」を可視化する (例)「大規模無低」キャンペーン



狙い①、②がぴたりと重なったテーマとの偶然の出会い —すべての始まりは閉鎖病棟から届いた一通の手紙だった

初めまして。多摩病院に入院している米田恵子です。
私は2016年2月10日にODをして入院になりました。
入院形式は「医療保護入院」です。
この3年5ヶ月間 精神薬を一切のんでいません。
なのに面会、Telは弁護士だけで、私の家族も
3年6ヶ月以上面会、Tel、退院を求めています、病院
は色々言い訳をしてさせてくれません。
それで私は昨年 弁護士さんを頼りました。
そして今年4月に退院請求をして 21人中の1人にならず
今にいたります。

〒192-0015
八王子市中野町2082
多摩病院 緑4病棟 米田恵子

連載「精神医療を問う」を開始

政治・経済 ▶ 精神医療を問う

精神病院に4年閉じ込められた彼女の壮絶体験

「入院は社会的制裁、市役所も児相も同意」

[次ページ](#) »

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 / 井舛 恵美：東洋経済 記者

2020/01/28 5:30

[シェア](#) 2635

[ツイート](#)

[一覧](#)

[B! 218](#)

[メール](#)

[印刷](#)

[A](#)

[A](#)



本連載のプロローグ

- 精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者数は約28万人、精神病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる(数字は2017年時点)。
- 人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。本連載では日本の精神医療の抱える現実をレポートしていく。

昨年9月末に問題告発編全15回が完結

	14歳の少女が精神病院で体験した「極限の地獄」 2021年4月1日 精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者…
	引きこもりの彼が精神病院で受けた辱めの驚愕 2021年3月16日 精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者…
	死にまで至る「身体拘束」に頼る精神病院の現実 2021年1月23日 精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者…
	精神病院「情報開示に消極的」な姿勢への大疑問 2020年12月28日 精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者…
	心を病む人を「薬漬け」にする精神医療への懐疑 2020年12月11日 精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者…
	自殺した28歳ボクサーの父が精神病院と闘う訳 2020年11月20日

3本柱は「医療保護入院」、「身体拘束」と「薬漬け」

東洋経済オンライン 9月25日 (土) 週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン | シネホー

トップ 新型コロナ ビジネス 政治・経済 マーケット キャリア・教育 ライフ 鉄道

政治・経済 > 精神医療を問う

精神病院から出られない医療保護入院の深い闇

現場医師の裁量で強制長期入院も可能になる

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 / 井澤 恵美：東洋経済 記者 2020/03/01 5:25

1 シェア 0.337 ツイート 1 1 1 1 1 1



入庫申請を提出した後、高倉に収容された井澤さん（撮影：岡田秀司）

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者数は約28万人。精神病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを疑問として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。本連載では日本の精神医療の抱える問題をレポートしていく。

「緊急の帝王切開で手術室に入り、出てきたときには卵管結紮されていた。自分のまったく知らないところで不妊手術をされていたと聞いたときはショックでした」

東洋経済オンライン 9月25日 (土) 週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン | シネホー

トップ 新型コロナ ビジネス 政治・経済 マーケット キャリア・教育 ライフ 鉄道

政治・経済 > 精神医療を問う

死にまで至る「身体拘束」に頼る精神病院の現実

日本の身体拘束率は国際的に見ても異常に高い

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 / 井澤 恵美：東洋経済 記者 2021/01/23 9:00

1 シェア 68.1 ツイート 1 1 1 1 1 1



高倉裁判所に記者会見に臨む、左・大島一也さんの両親と弟、真嗣は一位さん（記者撮影）

「一也に一目でも会いたいと思って、病院には7〜8回通いましたが、一度も会わせてもらえず身体拘束されていることも知りませんでした。怖かったらうし、息子が最期、どういう思いで亡くなったのかと考えるとたまらないです」（澄子さん）

「身体拘束なんてされるなら、無理矢理にでも病院から連れて帰ればよかった。痛かったらうし、つらかったらうし、後悔ばかりが先に立ちます」（正晴さん）

井澤さん（左）に上告受理を申し立てた。取材に対し「代理人弁護士と相

極めて使い勝手が良い「医療保護入院」

- 妹や弁護士とのバックアップがあったにもかかわらず、米田さんが4年近くも入院を余儀なくされた背景にあるのが、精神科特有の入院制度である「医療保護入院」だ。医療保護入院は精神保健福祉法が定める強制入院の1つ。本人が入院に同意しない場合に、家族など1人の同意に加え、同じく1人の精神保健指定医の診断があれば、強制入院させられる。
- 自由の制約という点では同じ刑事事件の場合、逮捕・勾留には現行犯以外は令状が必要で、その発行には裁判所の判断が介在するが、医療保護入院にはそれがない。刑期の決まっている刑事事件に対して、医療保護入院には入院期間の定めがない。

「家族同意」の罠

- こんなケースも...
- 一方的な診察に加え、同意した家族というのは、20年近くも音信不通で、その後軌道に乗ったAさんの事業に参加してきたものの、金銭トラブルを起こしていた長男だった。
- Aさんや妻、次男は何度も退院させてほしいと懇願したが、病院側は手続きをした長男が承諾しない限り退院をさせることはできないとの一点張りだった。
- 「一緒に住んでもいない長男からの連絡一つで、長年連れ添いベテランの看護師でもある妻とは一切話をしないで、こんな拉致・監禁がまかりとおるとは今でも信じられない。病院の医師たちに、検査もしないで一方的に認知症だと決めつけられたことで、強制入院でたくさんの薬を飲まされ、身体はどんどんおかしくなりました」(Aさん)

医療保護入院で活用される「精神科移送業」

東洋経済オンライン 9月25日(土) 週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン | シネホー

トップ 新型コロナ ビジネス 政治・経済 マーケット キャリア・教育 ライフ 鉄道

政治・経済 > 精神医療を問う

夫の策略で「強制入院3カ月」妻が味わった悪夢 精神疾患の既往歴なしの人が精神科病院に幽閉

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 著 第40回 2020/09/25 5:10

シェア 571 ツイート 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

「精神疾患の既往歴などいっさいない自分が、まさか精神科病院に強制入院させられるなんて、夢にも思いませんでした」

東洋経済オンライン 9月25日(土) 週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン | シネホー

トップ 新型コロナ ビジネス 政治・経済 マーケット キャリア・教育 ライフ 鉄道

政治・経済 > 精神医療を問う

ある朝、精神病院に強制連行された男の凶体験 「まるでSF小説」が蔓延する精神科移送業の実態

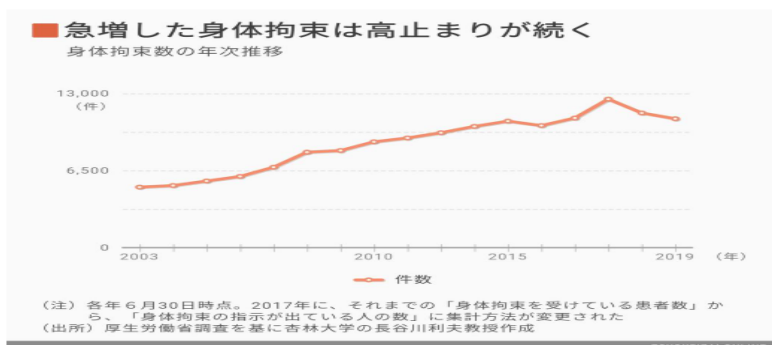
風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 著 第40回 2020/09/25 5:30

シェア 771 ツイート 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

いきなり見知らぬ男たちに連れて行かれた

死にまで至る「身体拘束」の高止まり

- 日本では身体拘束の件数が激増している。厚生労働省の調査によれば、2019年6月30日時点の身体拘束件数(拘束指示が出ている人の数)は1万0875人。5000人超だった2000年代半ばと比較し倍増している



「トラウマ」とすることを目的としたとも思えるようなケースも

東洋経済

O N L I N E

9月25日（土）

週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン | シネホー

トップ

新型コロナ

ビジネス

政治・経済

マーケット

キャリア・教育

ライフ

鉄道

政治・経済 ▶ 精神医療を問う

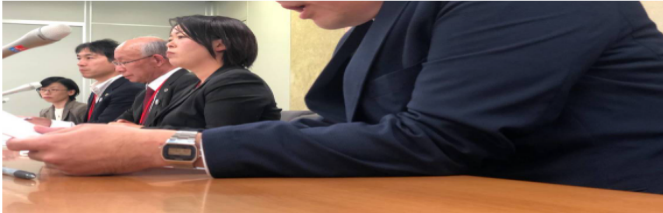
引きこもりの彼が精神病院で受けた辱めの驚愕 就職支援施設から強制連行されたのはなぜか

次ページ ▶

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 著者プロフィール

2021/03/16 9:30

シェア 1422 ツイート 115 印刷 編集 読字



Aさん（手前）は50日間強制入院させられた病院医師らを逮捕監禁罪などで刑事告訴（記者撮影）

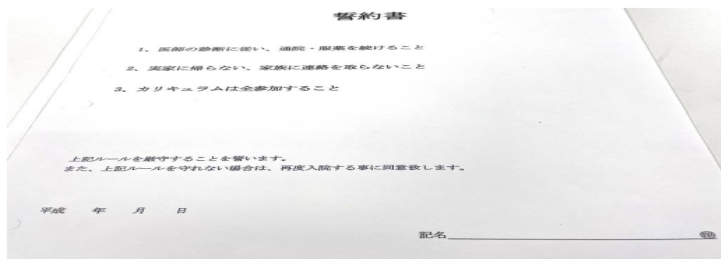
この記事の画像を見る(3枚)

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者数は約28万人、精神病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。日本の精神医療の抱える現実をレポートする連載の第10回。

「引き出し屋」が指示に従わせる「道具」として活用

誓約書を強要

退院するや否や、Aさんはセンターから「誓約書」（写真）へのサインを強要された。



センターが退院したAさんにサインを強要した誓約書。ルール違反は再度入院と明記（記者撮影）

（外部配信先では写真を全部閲覧できない場合があります。その場合は東洋経済オンライン本サイトでご覧ください）

- ① 医師の診断に従い、通院・服薬を続けること
- ② 実家に帰らない、家族に連絡を取らないこと
- ③ （センターの）カリキュラムは全参加すること

という内容だ。誓約書の文末には下記の一文があった。

「上記ルールを守れない場合は、再度入院する事に同意致します。」

少なくともセンター側が、身体拘束の恐怖や強制入院の理不尽といったAさんの心身に刻まれた精神科病院でのトラウマを、指示に従わせる「道具」として活用しようとしたことは明白だ。

拒食症で14歳少女が77日間身体拘束

政治・経済 ▶ 精神医療を問う

14歳の少女が精神病院で体験した「極限の地獄」 拒食症理由に強制入院で77日間身体拘束された

次ページ ▶

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 著者プロフィール 2021/04/01 8:00

シェア 2400 ツイート 一覧 B176 印刷 [A] [A]



14歳のときに精神科に入院し、77日間にわたり身体拘束されたAさん。いまもフラッシュバックに苦しむ（記者撮影）

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神科病棟への入院患者数は約28万人、精神科病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。日本の精神医療の抱える現実をレポートする連載の第11回。

「かゆいときも自分ではかかず、寝返りもいっさい打てません。一度大嫌いなクモが天井から降りてきた事があり、動かせない顔の数センチ横に落

「ものすごい羨望を集めるような特別待遇」

- 病院側は「身体拘束を内省や医療従事者に心を開く手段として用いるようなことはしていない」と主張する。だが、2020年11月、裁判所での証人尋問で、この担当医は耳を疑うような発言をしている。
- 「（身体拘束されている患者は）付きっきりのように、もうほかの患者と比べれば、数倍もの時間を医師も（費やしている）、ですから御本人さんが身体拘束が外れたときにもものすごく寂しいと言って、特別な座から降りるんだと、まさにそのような、もう病棟患者さんから見れば、ものすごい羨望を集めるような特別待遇なんですよ」
- この言葉を聞いたAさんは憤りを込めて訴える。「精神科医にはぜひ、いつ解除されるかわからない身体拘束を、一度体験してみしてほしい。結果的に1時間で終わったとしても、当事者が訴える、先の見えない底なしの恐怖の一端は感じ取ってもらえると思います。私は結婚して精神的に安定した今でも、急に手首を握られたときなど、身体拘束のフラッシュバックに苦しめられることがあります」

最終回は「あの」報徳会宇都宮病院の今

政治・経済・精神医療を扱う

報徳会宇都宮病院に今も君臨する95歳社長の正体 精神医療史に残る不祥事経てもなお最前線に立つ

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 [ブログをフォロー](#) 2021/07/14 6:00

[シェア](#) 765 [ツイート](#) [印刷](#) [14](#) [メール](#) [A](#) [A](#)



報徳会宇都宮病院の正体。全体で653床の病床を持つ精神科病院だ（記者撮影）

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神科病棟への入院患者数は約28万人、精神科病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。日本の精神医療の抱える現実をレポートする連載の最終第13回前編。

「気持ちが悪く着くまで、ちょっと入院しませんか」

「会ったからいって……」 黒いト、それとちまたは子供を産

政治・経済・精神医療を扱う

報徳会宇都宮病院の「入院治療」あまりに驚く実態 各種専門家から厳しい指摘、山のようなクレーム

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 [ブログをフォロー](#) 2021/07/16 5:20

[シェア](#) 1678 [ツイート](#) [印刷](#) [14](#) [メール](#) [A](#) [A](#)



記者会見する元宇都宮市精神科病院長の朝比奈昌彦医師（左から2人目、記者撮影）

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神科病棟への入院患者数は約28万人、精神科病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。日本の精神医療の抱える現実をレポートする連載の最終第13回中編。

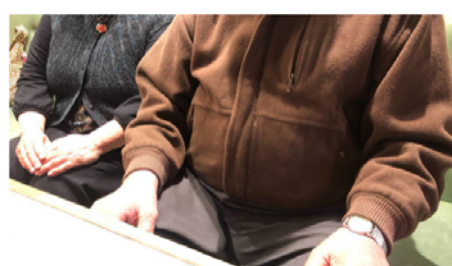
第13回前編：「報徳会宇都宮病院に今も君臨する95歳社長の正体」(7月14日配信)

政治・経済・精神医療を扱う

「社会を守る」精神病院で人権侵害が続発する大矛盾 日本は認知症の強制入院を是とする国でいいのか

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 [ブログをフォロー](#) 2021/09/21 11:40

[シェア](#) 733 [ツイート](#) [印刷](#) [12](#) [メール](#) [A](#) [A](#)



遠方の報徳会宇都宮病院に連行され、強制入院させられたAさんとその妻（記者撮影）

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神科病棟への入院患者数は約28万人、精神科病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。日本の精神医療の抱える現実をレポートする連載の最終第13回後編。

第13回前編：報徳会宇都宮病院に今も君臨する95歳社長の正体
第13回中編：報徳会宇都宮病院の「入院治療」あまりに驚く実態

「あの」石川文之進医師（95歳）も現役で健在

- Aさん、Bさんの主治医を務めたのは、報徳会宇都宮病院の「社長」（＝オーナー）、現在御年95歳、大正生まれの石川文之進（いしかわ・ぶんのしん）医師だ。少なくともAさんが退院した昨年、2020年春までは、同院の精神科診療の最前線に立っていた。
- 実際、同院のホームページの神経・精神科の筆頭に、「社長、日本精神神経学会専門医・指導医」の肩書で紹介されている。また職員募集のページの、「精神科就職はコロナに強い。」との項目には、「当報徳会宇都宮病院は653床の精神病院(ママ)です。(中略)全国的に入院患者数減少のなか、社長石川文之進先生の重症患者様への診察と看護による努力で、当院では入院患者数はかえって増加しています」との記載もある。

まさに50年前の大熊一夫著『ルポ精神病棟』の世界



「正直、こんなでたらめは見たことがない」

- 宇都宮市嘱託医の朝信医師は生活保護を受給する9人の長期入院患者のカルテ等を確認したが、「1つとして妥当性がある、まともなものだと判断できるものはなかった。そもそも医師カルテに処方や血液検査結果がまったく記載されていない。それは医師法、医療法、国民健康保険法に違反している」(朝信医師)。病院側は処方や検査結果は看護カルテに記載されていると説明したという。
- この長期入院患者9人の主治医はすべて、同院の「オーナー」である石川文之進(ぶんのしん)医師(95歳)だ。
- 「正直、こんなでたらめは見たことがないし、こんなことがありうるのかと思うほどひどい」(朝信医師)。

都内の生活困窮者を「収容」

- 精神科医療の問題を取り扱う弁護士、司法書士などのグループ「医療扶助・人権ネットワーク」(代表:山川幸生弁護士)は2014年10月、厚生労働相や東京都知事、栃木県知事などに宛て要望書を提出した。要望の趣旨は、栃木県の精神科病院に入院中の生活保護受給者のうち、長期入院患者についての入院継続の必要性の確認、退院希望者への必要な措置を取ることなどだ。
- 同ネットワークは要望書提出時までの約2年間だけで、報徳会宇都宮病院の入院患者25人の退院に関与してきた。法律家による患者たちへの詳細な聞き取りによって、同院の数々の問題点が明らかとなった。

入院患者たちからの悲痛な声

- 病院には何度も退院したいと申し出た。院長はいつでもいいというが、オーナーは「1年は入院してもらわないと困る」と取り合ってくれなかった。
- オーナーに退院したいと告げると、「病気が治ってないから1年いろ」「農園で金を稼いでから出ていけ」と取り合ってもらえなかった。
- これまで何度も退院したいと言ったが、オーナーからは「2年は入院してもらおう。心臓の病気があるので退院できない」と取り合ってもらえなかった。別の医師に心臓の事を聞いたら「別に問題ない」と言われた。
- オーナーに退院の話を持ち掛けたところ、閉鎖病棟に移された。

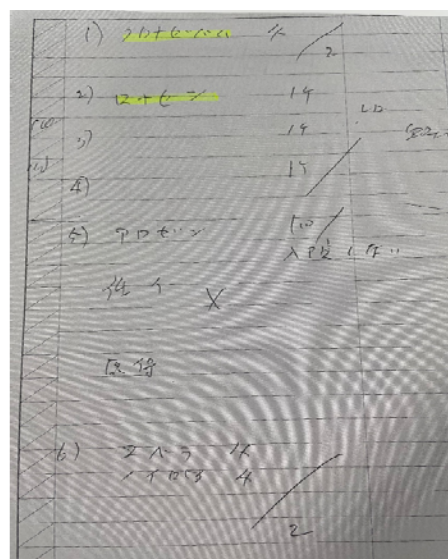
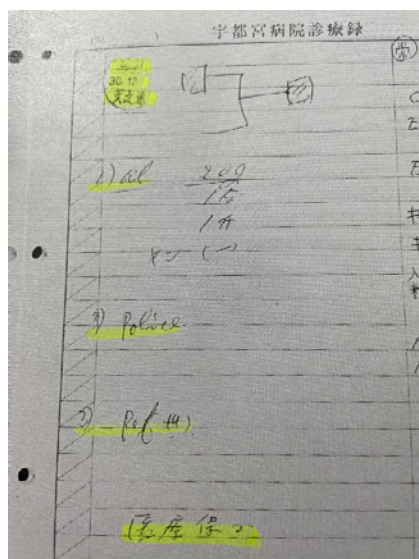
恐ろしく鈍い行政側の動き

- 医師や法律家など各種専門家からの厳しい指摘に対し、行政側の動きは恐ろしく鈍い。
- だが同年10月、宇都宮市は「レセプトの傷病名と入院要否意見書の傷病名に整合を持たせること」という、ごく形式的な文書指導で本件を幕引きとし、なおも食い下がる朝信医師と市幹部との会談が2019年7月に決裂すると、任期満了だとして同年3月末にさかのぼり、同氏を嘱託医ほかすべての市の役職から外すことを決めた。
- こうした市の対応に、宇都宮市医師会精神科医会は報徳会宇都宮病院への独自の監査を提案したが、市はこれも拒否。
- 同様に、医療扶助・人権ネットワークの要望書に対しても、結局具体的な動きは何らみられずじまいだった。

患者、関係者からも山のようなクレーム

- 実はこうした専門家からの指摘を待つまでもなく、栃木県や宇都宮市には、患者や関係者などから、報徳会宇都宮病院に関するクレームは山のように寄せられている。
- 東洋経済が昨年末、栃木県と宇都宮市に対して、報徳会宇都宮病院に関する相談・苦情と、その対応について、記録された文書すべての公文書開示請求を行ったところ、2015年から2020年までの6年分（一部他期間も含む）で、その件数は実に430件に上っていた。栃木県からは小型の段ボールでひと箱分の文書が開示されたほどだ。
- 黒塗り部分が多く判別しにくい点もあるが、苦情内容はやはり、「理由の説明もなく退院させてくれない」といった内容が多い。

石川文之進医師の「カルテ」



急増する認知症での精神科入院

- 厚生労働省の推計によれば、2025年に認知症の高齢者(65歳以上)は約700万人となる。認知症予備軍にあたる軽度認知障害(MCI)まで含めると、確実に1000万人を超えるとみられ、高齢者の3人に1人となる。
- もはや認知症は特別なことではなく、本人や家族としてはいかに備えたうえで普通に付き合っていくか、社会としてはいかに認知症の人が当たり前について、受け入れる体制を構築できるかが重要となってくるはずだ。
- ところが認知症だと診断されたことで、突如として精神科病院への強制入院を余儀なくされるケースは決して少なくない。
- 厚生労働省の調査によれば、精神疾患を有する入院患者のうち、アルツハイマー型認知症は4.9万人(2017年)で、2002年の1.9万人から右肩上がり増加している。

先進国の認知症ケアの潮流とは真逆

- 認知症の人を、本人の同意なく精神科病院に強制入院させ、向精神薬を投与する。場合によっては隔離や、時に死にまで至る身体拘束を行う……。こうした日本の実情は、脱施設化の進む世界の認知症ケアの潮流とは、明らかに反している。
- 現在の日本の認知症対策の国家戦略は、政府が2015年に策定した「新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）」、各論に目を凝らすと、随所に認知症への精神科病院のかかわりが強められる内容が盛り込まれていることがわかる。
- 精神科病院の役割は、「介護サービス事業者等への後方支援と司令塔機能が重要」と明記されたことで、医療が介護に対して指揮命令権を持ち、優位に立つことが明確化された。

圧倒的な病床数背景に積極提言

- 新オレンジプランでは再度の方針転換を余儀なくされた背景には、ある団体からの猛烈な反発があった。日本精神科病院協会（日精協）である。
- 日精協は戦後、民間の精神科病院を中心として設立された。現在では、会員病院の病床数は、日本の精神病床総数の85%以上を占めている。その圧倒的な病床数を背景に、精神保健分野の厚生行政につねづね、積極的な提言・要望を行っている。
- 一貫してうかがえるのは、認知症施策においては、あくまで精神科医による医療モデルが「主」であり、介護など生活モデルは「従」であるというスタンスだ。

認知症は精神医療で対応

- 日精協が認知症に関して、先進諸国の潮流とは真逆とも思える主張を続けるのは、いったいなぜなのか。上に挙げたすべての提言・要望時の責任者であり、今年7期目に再選出され現在も組織を率いている、日精協の山崎學會長に尋ねた。
- 「高齢化が進む中、認知症に伴うBPSD(妄想・徘徊などの周辺症状)の患者は当然増えます。そのためには一定の病床数は維持しないと駄目だと思う。認知症のBPSDというのは精神科医でなくては治療できません」

社会秩序の担保と保安を担う精神科病院

- 精神科病院が医療だけではなく社会秩序の担保と保安を担っているという、発言の真意についても山崎會長に聞いた。
- 「(NHKの番組で)言っていること自体は、僕は間違っていると思ってないんです。精神科は今どうにかしてほしいという患者を家族や警察や保健所が連れてきて、精神保健福祉法に基づいて強制入院させるシステムです。たとえば心筋梗塞などで運ばれる患者とは違って、医療の提供の前に暴れている人をどうにかしなければなりません。そこに診療報酬上の評価が全然ないことを問題視しているんです。それが社会秩序の担保と保安機能を担っていることへの評価を、ということです」

「地域移行」への日精協会長の見解

- 「地域に出るということが、その患者さんにとって幸せだと思う？
僕は患者さんにとって余計なお世話だと思う。精神科病院で気の合った仲間とおしゃべりして一緒に晩ご飯を食べる生活と、独居のアパートでコンビニの冷たい晩飯を1人でテレビ見ながら食べる生活とどっちが幸せだと思う？ しかも長期入院で社会生活の仕方もほとんどわからない人が地域に出て困惑するより、病院内の仲間と冗談言って、晩飯食べて、おやすみと寝て、病院に長期入院でいるほうが、僕は幸せな気がするけどな。僕ならそっちのほうがいいな」

実は多くの精神医療従事者からも同様の声が...

- 計15本の連載記事は、累計で約2700万ページビューに至り、読者からも900件超と大変多くの直接の反響が寄せられた。
- 反響は障害当事者や家族のほか、医師、看護師、精神保健福祉士など医療従事者からも多数届き、従事者からは肯定的な評価も数多く頂いたものの、一方で否定的な声も相次いだ。
- 否定的な声の内容を詳細に分析する中で、あることに気が付いた。まさに50年前、1970年3月から朝日新聞で連載された大熊一夫記者の「ルポ・精神病棟」に対する否定的な反響とその主たる内容がまるで重なるということだ。
- 「ごく一部のレベルの低い病院をセンセーショナルに取り上げている」「精神病院の実態は精神医療従事者だけが語る資格がある」...、など、問題の山積する実態に対し目を背け、内部のみで固まろうとする相も変らぬ姿勢こそが、明らかな人権侵害というべき数多くの事態に直結しているのではないか。

徹底した「性善説」への疑問

- 山崎会長の主張や精神医療従事者からの当連載への否定的な声の前提には、精神科医、精神科病院への徹底した性善説があるが、これまでの連載で見えてきたとおり、それは必ずしも当てはまらない。
- ・治療もないのに「社会的制裁だ」などとして4年間も強制入院させた精神科医（連載第1回「精神病院に4年閉じ込められた彼女の壮絶体験」）
- ・「捜査機関の奴らが認知症やら何やらで精神科に来たら問答無用で隔離室に放り込んで、徹底的に痛めつける」といったメールを送った精神科医（連載第2回「精神病院から出られない医療保護入院の深い闇」）
- ・身体拘束を「ものすごい羨望を集める特別待遇」などと言っている精神科医（連載第11回「14歳の少女が精神病院で体験した『極限の地獄』」）
-、など、本連載の中だけでも、問題事案は枚挙にいとまがない。

求められる患者本人の権利擁護

- 精神科医らからなる日本精神神経学会は今年6月、「精神科医師の倫理綱領細則」を制定した。
- その末尾では、精神科医師は法を順守するとともに、法や制度を改善するよう努めるといい、既存の法を守るだけでなく、精神を病む人びとが法や制度の恩恵をよりよく受けられるよう積極的に行動すると明言している。
- 形式的な法の順守にとどまらず、患者本人の権利擁護のために、いかに自発的に積極的な行動へと踏み切れるか、今、精神医療関係者に問われているのは、まさにその一点である。

連載を終えて、改めて思うこと

- 日本の精神医療に最も必要なのは、外部からの指摘を積極的に受け止め、対話し、自己変革へとつなげることのはず。
- その意味で、門外漢の最たるものである経済ジャーナリズムの当媒体が、問題提起に取り組む意義はあったと考えている。

どこまでを「事実」として書けるのか

ー「文化通信」インタビューよりー

- 記者と当事者の間にいる専門家、支援する医者、弁護士、支援者の方々など現状や実態を客観的に見られる人に入ってもらいました。コメントなどの引用は、専門家の複数の目からみて「ここまでは言える」というぎりぎりのところまでつめました。相手方が当事者に言っていないと主張していることについては本文に注記をしています。記事に説得力を出すために一番気を使ったところです。
- 私は20代前半の記者駆け出しのときに、偽装請負に関する記事でとある企業から名誉毀損裁判を受けました。当然、こちらに正義があると考えていましたが、裁判は一つ一つの事実に関する裏付けがあるかを事務的に詰めていく作業。一審では負けました。こちらからすると一見些細に見えることでも足元をすくわれてしまう。この時の体験は強烈にあります。
- 今回も記事公開前には自社の法務チームに必ずチェックしてもらいました。時には顧問弁護士にもみてもらいました。当事者の証言を裏付けるための反対取材も徹底しました。事実を書く上でやれることは全部やりました。その甲斐もあって連載中、記事の信憑性に関するクレームはひとつもありませんでした。

「構造問題」として描くことに徹する

ー「文化通信」インタビューよりー

- 一人の悪い医者がいるとか、一人のかわいそうな患者がいるというレベルの話ではありません。精神医療の取材では、本当にその医者がおかしいと言えるのか、当事者の言っていることが信用できるのかなどと言われがちです。確かに個々の問題にするとつめきれないところが出てきます。
- 大切なのは精神医療に関する制度や仕組みがおかしいと指摘することです。強制入院に関しても、警察が容疑者に同じようなことをしようと思ったら裁判所の令状が必要なのにその過程をすっ飛ばしてしまう。警察や裁判所担当の事件記者から見ても異様に映るはずですが、そういう目で見れば(同業のメディアにも)関心を持ってもらえると期待しています。

本連載を大幅加筆して書籍化

- 15回の連載をベースに大幅加筆し、3月11日に弊社より刊行。
- タイトルは『ルポ・収容所列島 ーニッポンの精神医療を問うー』
- タイトルの参考にしたのは、旧ソ連の反体制派への人権侵害を告発した、ソルジェニーツィンの『収容所群島』。同書は広大なソ連領内に点在する収容所のありようを大海中の島々になぞらえて「群島」としたが、本書ではこの狭い日本列島に隔離収容型の「精神病院」がいまだ密集しているさまを示せればと思っている。

大幅加筆し3月11日に刊行。乞うご一読！



(余談ですが...) 4月に『週刊東洋経済』編集長に就任

めざすのは、「真面目なる技術者(記者・編集者)の技能を、最高度に発揮せしむべき自由闊達にして愉快なる理想工場」(ソニー設立趣意書より)→ご期待くださいませ！